

量り売り普及を阻む店舗負担を解消する新システムを国内初導入

日本最大規模のゼロ・ウェイストスーパーマーケット「斗々屋」 持続可能な小売モデルの社会実装に向け、寺岡精工 「EcoPlus」の実証を開始

株式会社斗々屋（京都市上京区、代表取締役 梅田温子）は、株式会社寺岡精工が開発した新型ソフトバッグディスペンサー「EcoPlus」を京都本店へ国内で初めて導入し、2026 年 7 月 24 日より実証運用を開始します。

今年、京都本店は開業 5 周年を迎えます。斗々屋は、京都店の開業以前からトータル 10 年にわたり使い捨ての包装材を必要としない買い物（パッケージフリーの買い物）の普及に挑戦してきました。その実践を通じて見えてきたのが、「環境には良いが、店舗運営の負担が大きい」という量り売り普及の大きな壁です。今回導入する「EcoPlus」は、その課題の一つである商品補充や洗浄などの店舗オペレーションを改善し、量り売りをより多くの小売店へ広げるための新たな一歩となります。

■ 次の課題は、「量り売りを一般のスーパーマーケットへ」

2020 年から開催している「量り売りショップ開業オンライン講座」にはこれまで 600 名以上が参加し、そのうち約 130 店舗が実際に開業しています。量り売りという販売スタイルは、専門店や個人店を中心に着実に広がりを見せている一方で、日本の食品流通の中心を担う既存のスーパーマーケットへの導入は、まだ限定的です。包装ごみを出さない買い物を社会のスタンダードにしていくためには、環境価値だけでなく、小売事業者が無理なく運営できる仕組みを構築することが不可欠です。

■ EcoPlus で検証するのは「店舗運営の持続可能性」

今回導入する「EcoPlus」は、食品メーカーから納品される商品入りソフトバッグをそのままディスペンサーへ装着できる新しい量り売りシステムです。これにより、従来必要だった商品の移し替えやディスペンサーの洗浄といった作業負担の軽減が期待されます。また、商品の品質維持や衛生管理の向上、作業時間や作業ミスの削減など、店舗運営全体の効率化にもつながる可能性があります。

斗々屋では今回の実証を通じて、店舗オペレーションへの効果を実際の店舗で検証するとともに、量り売りを既存のスーパーマーケットでも導入しやすい仕組みへと発展させるための知見を蓄積していきます。

ソフトバックディスペンサー
「EcoPlus」



設置
イメージ



■ 目指すのは、量り売りを"特別な売場"から"当たり前の売場"へ

斗々屋が目指しているのは、量り売り専門店だけが増えることではありません。地域のスーパーマーケットや食品専門店など、日々多くの人が利用する売場においても、使い捨ての包装材を必要としない買い物が自然な選択肢となる社会です。そのためには、「環境に良い」という理念だけではなく、小売事業者が継続して運営できる仕組みが必要です。今回の実証は、**店舗・食品メーカー・消費者の三者にとって無理のない量り売りの仕組みを検証し、持続可能な小売モデルの実装を進める**取り組みです。

斗々屋はこれからも、現場で得られた知見をメーカーや流通事業者と共有しながら、包装ごみを出さない買い物を"特別な選択肢"ではなく、誰もが日常的に利用できる"当たり前の売場"へと育てていきます

■ 株式会社斗々屋について

「豊かさの価値を変えてゆく」を理念に掲げ、京都で日本最大級のゼロ・ウェイストスーパーマーケットを運営。量り売り、食品ロス削減、リユース容器循環、循環型商品開発、自治体・企業との共同実証などを通じ、サーキュラーエコノミーの社会実装を牽引しています。現在は、小売事業で培った実践知をもとに、企業・自治体の循環型経営への移行支援「Circular Shift Advisory」を展開しています。

【会社概要】

会社名：株式会社斗々屋

代表者：代表取締役 梅田温子

所在地：京都府京都市

事業内容：ゼロ・ウェイストスーパーマーケット運営、サーキュラーエコノミー実装支援、オフィス斗々屋、Circular Water Project、循環型店舗モデル開発、フランチャイズ事業

コーポレートサイト：<https://totoya-zero waste.com>



■ 本件に関するお問い合わせ・取材のお申込み

株式会社斗々屋 広報担当 清藤

Email：info@zerowaste.co.jp

TEL：075-221-8282